

会 議 録

会 議 名	令和2年度 第2回 八王子市環境推進会議		
日 時	令和2年12月14日(月)	開 始	終 了
場 所	書面開催		
出席者氏名	委 員	<p>【環境市民会議】 金子 孝(議長)、栗田 和仁、奥村 司、高橋 一郎、庄司 真人、三田 百合子、中山 峯雄、谷村 伸一、城所 幸子、八木下 輝一、加納 啓有、山下 明子</p> <p>【市民委員】 小沼 廣、不破 敏博</p> <p>【市職員】 植原総合経営部長、三宅環境部長(副議長)、守屋資源循環部長、守屋水循環部長、太田都市計画部長、佐久間まちなみ整備部長、中野環境政策課長</p> <p style="text-align: right;">以上 21 名</p>	
	事務局	<p>環境部環境政策課 : 星主査、三田主任、田中主任、山口主事</p> <p style="text-align: right;">以上 4 名</p>	
欠席者氏名	以上 名		
議 題	<p>1 議題 第2次環境基本計画令和2年度上半期の進捗状況について</p>		
公開・非公開の別	書面開催		
配 付 資 料	<p>【事前配付】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1 第2次環境基本計画「第4章 基本目標」進捗管理シート【令和2年度上半期】 ・資料2 第2次環境基本計画「第6章地域の行動」における各地区の活動実績【令和2年度上半期】 		
内 容	<p>1 第2次環境基本計画令和2年度上半期の進捗状況について</p> <p>○第2次環境基本計画「第4章 基本目標」における実績について、資料1に基づき書面で報告。</p> <p>【報告内容抜粋】</p> <p>■基本施策I-1「みどりの多面的機能の活用」では、成果指標の「市が保全をすすめている里山の数」は前年度からの増減はなく3か所となっている。施策の展開として「森林の活用」では、事業協力をしている高尾の森自然学校のポスター、チラシ等の配布・広報を行った。「里山の管理・活用」では、里山保全活動に携わる人材の育成講座としてフォロー講座やステップアップ講座を実施した。また、新たな受講者を募集し20名が新規に参加した。</p> <p>■基本施策I-2「森林の循環の強化」では、成果指標を「八王子産の木材を含む多摩産材を普及・啓発し、活用をすすめる」とし、施策の展開として「木材利用の推進」では、いずみの森義務教育学校の新築工事において多摩産材を使用した。</p> <p>■基本施策I-3「まちなかのみどりの保全・創出」では、成果指標の「グリーンマッチング八王子制度を利用し管理している緑地の数」は前年度からの増減はなく2か所となっている。「市民1人当たりの都市公園面積」は、現時点では実績は集計中である。施策の展開として「遊休農地の活用」では、農地バンク制度で3件マッチングが成立した。「まちなかの緑化」では、駅前の花づくり事業への支援として、八王子駅北口・南口、南大沢駅、めじろ台駅に花苗等を支給した。</p> <p>■基本施策I-4「水資源の保全と再生」では、成果指標の「雨水流出抑制対策率」は、現時点では集計中である。施策の展開として「雨水浸透施設の設置促進」では、浸透管、浸透ます、浸透性舗装、浸透トレンチの設置を実施した。</p>		

■基本施策Ⅰ-5「良好な水質の保全」では、成果指標を「市内 8 河川 9 地点の BOD 環境基準値」とし、達成率は 100%を維持している。施策の展開として「生活排水対策の推進」では、公共下水道接続率 98.6%となっており、公共下水道への未接続家屋へ戸別訪問の際、接続促進と併せて浄化槽の使用三大義務（保守点検・清掃・法定検査）の履行について、12 件の指導を行った。

■基本施策Ⅰ-6「生物多様性の保全」では、成果指標の「生物多様性の必要性を理解している市民の割合」は市政世論調査の結果を採用している。ここで結果が公表されたので 41.2%と報告する。「外来生物対策の推進」では、特定外来生物であるクビアカツヤカミキリの対策の実施や、アメリカザリガニ、ウシガエル等の駆除を実施した。

■基本施策Ⅱ-1「ごみの発生抑制と資源化の推進」では、成果指標を「1 人 1 日あたりのごみ総排出量」とし、現時点では集計中である。施策の展開として「家庭系ごみの減量と資源化の推進」では、チラシを用いたポスティング等を活用しきめ細やかな啓発活動を実施した。広報特集号「ごみゼロ通信」で食品ロスを特集した。

■基本施策Ⅱ-2「廃棄物の適正処理」では、成果指標の「埋立処分量の推移」は 0t を継続している。施策の展開として「資源・エネルギーの有効利用の推進」では、剪定枝資源化の本格実施に向け、収集・資源化体制等を検討した。「産業廃棄物の適正処理」では、PCB 廃棄物等の期限内処理に向けた啓発のため、立入調査等を実施した。

■基本施策Ⅱ-3「二酸化炭素 (CO₂) 排出量の削減」では、成果指標の「市民 1 人当たりの年間 CO₂排出量の削減割合（平成 12 年度比）」は現時点では集計中である。施策の展開として「家庭の取組支援」では、7・8 月に「省エネチャレンジ 2020」を実施し、9,307 世帯が参加した。また、みどりのカーテン講座及びみどりのカーテンコンテスト、家庭の省エネ講座等を開催した。

■基本施策Ⅱ-4「再生エネルギーの普及拡大」では、成果指標の「市内に設置された太陽光発電装置の発電容量」は、令和 2 年 6 月末時点で 51MW である。施策の展開として「再生可能エネルギーの普及拡大」では、いずみの森義務教育学校に太陽光発電設備を導入した。

■基本施策Ⅱ-5「低炭素型まちづくり」では、成果指標の「エネルギーを効率的に利用するまちづくりに着手している箇所数」は 0 か所となっている。施策の展開として、「低炭素型まちづくりの推進」では、重点促進地域に指定した「八王子駅地区・西八王子駅地区」「多摩 NT 鍵水地区」「八王子西 IC 川口地区」で導入施策の準備を進めた。

■基本施策Ⅲ-1「環境教育・環境学習の推進」では、成果指標の「環境に関する講座や講演に参加している人の数」は、現時点では集計中である。新型コロナウイルス感染症拡大予防のためイベントや講座の中止が多く、また、募集人数を絞っているため参加人数は減少が見込まれる。施策の展開として、「環境保全に精通した人材の育成・活用」では、環境学習リーダー等が環境教育支援事業に参加した。

■基本施策Ⅲ-2「環境情報の提供、収集及び活用」では、成果指標の「日常生活において常に地球環境に配慮して暮らしている市民の割合」は、市政世論調査の結果を採用している。ここで結果が公表されたので 51.2%と報告する。現時点では集計中である。施策の展開として「役立つ環境情報の発信」では、Facebook「はちおうじ環境だより」への投稿や災害リスク情報、熱中症注意喚起等に関する情報の発信を行った。

■基本施策Ⅳ-1「美しく快適なまちの保持」では、成果指標の「まちの美観が保持されていると思う市民の割合」は、市政世論調査の結果を採用している。ここで結果が公表されたので 56.5%と報告する。施策の展開として「まちの美化の推進」では、駅前の花づくり事業への支援や道路アドプトでの道路清掃や植栽帯の刈込等を実施した。また、平日の夜間パトロールや監視システムにより不法投棄の抑制を行っている。

■基本施策Ⅳ-2「安全で健康な暮らしを守る」では、成果指標の「周囲の生活環境（大気汚染、騒音・振動）について良いと感じている市民の割合」は、市政世論調査の結果を採用している。ここで結果が公表されたので 47%と報告する。また、「光化学オキシダント昼間の 1 時間値が 0.06ppm 以下の日数」は、速報値で 123 日となっている。施策の展開として、「公害防止対策の推進」では、毎月市内 8 河川 9 地点での水質測定を継続するとともに、市内 7 か所で大気の常時監視を実施し、ホームページに毎時間速報値を掲載した。

【質疑・応答】

■基本施策Ⅱ-2「廃棄物の適正処理」の「収集・処理システムの整備」について、環境負荷の少ない車両とあるが、ハイブリッドのパッカー車なのか。

→クリーンディーゼル車を購入するので表現を、「環境負荷の少ないパッカー車、天蓋

	<p>車」に修正する。</p> <p>○資料 2 に基づき、各地区より書面で報告。</p> <p>【報告内容抜粋】</p> <p>■【中央地区】上半期は準備を進めていたものの、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、多くのイベントや講座などが中止となった。「地球温暖化防止のための省エネ生活の推進」では、八王子市地球温暖化防止活動推進員の活動として、家庭の省エネハンドブックの改訂作業に参加した。「河川の巡回観察・調査活動の推進」では、毎月河川の巡回や野草、生き物の観察、植生調査、水生生物調査を行った。「まちのみどりの保全」では、環境グリーンマップの改訂を進めている。</p> <p>■【北部地区】上半期は準備を進めていたものの、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、多くのイベントや講座などが中止となった。「谷地川の調査と清掃活動」では、7 地点の COD 値、水温、PH、水量等の調査を実施した。「緑地保全活動」では、新型コロナウイルス感染症拡大予防の対策を取ったうえで、保全活動を実施した。「環境教育・環境学習などの推進」では、小宮小、宇津木台小への環境学習支援を行った。</p> <p>■【西部地区】上半期は準備を進めていたものの、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、定例会をはじめ年度活動計画を中止、順延とした。「特定外来植物の駆除」では、大沢川と城山川のクリーン活動に併せて刈込みを実施した。「環境教育支援事業の実施」では、地区内の小学校を対象に環境教育支援活動を実施し、地区外についても応援を行った。特色のある取り組みとして、町会単位の小グループでダンボールコンポスト講習会を実施した。</p> <p>■【西南部地区】上半期は準備を進めていたものの、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、全体会の中止や多くのイベント、講座などが中止となった。「高尾山の環境保全活動」では、高尾山自然観察及びパトロールを実施した。「里山の保全活動」では、蛍調査を実施した。また、館町緑地保全地域の花マップ付き紹介チラシを作成した。「環境教育支援」では、浅川小 1 年生に独自に教育支援を行った。</p> <p>■【東南部地区】上半期は準備を進めていたものの、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、多くのイベントや活動などが中止となった。「駅周辺のきれいさ評価や清掃活動」では、東南部地区内の 6 駅周辺に対きれいさ調査を行った。「自然エネルギーや節電・省エネの出前講座」では、ソーラークッカーでの焼き芋作りなどを実施し、親子 19 組が参加した。特色のある取り組みとして、地域の保全団体と協働で竹林の整備を実施した。</p> <p>■【東部地区】上半期は準備を進めていたものの、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、多くのイベントや講座、活動が中止や縮小となった。「里山保全活動の推進」では、新型コロナウイルス感染症拡大予防の対策を取りながら、継続して活動を行った。「環境教育支援事業の推進」では、小学 3 年生のカイコの飼育学習に対して、支援するとともにカイコの成長記録等をウェブに掲載し児童が閲覧できるようにした。「豊かな自然環境への市民の親しみ向上」では、ウェブを活用し活動を紹介するとともに、ZOOM イベント「由木のカエルのお話し会」を開催した。特色のある取り組みとして、会員向けの学習会を開催し、他地区の環境市民会議会員にも参加を呼び掛けた。</p> <p>■以上をもちまして、令和 2 年度 第 2 回八王子市環境推進会議を終了します。</p> <p>以上</p>
<p>署名人</p>	<p>令和 3 年 2 月 4 日 署名人 三田 百合子</p>